

校長室だより

11月号

杉並区立向陽中学校
令和元年11月28日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「チーム向陽 ～組織対応・説明責任～」

◇ 『誰もが安心して学べる、いじめのない向陽中学校にする』を掲げて

10月と11月の全校朝礼でそれぞれ「自制心」と「やり抜く力」について生徒に考えてもらいました。このふたつは向陽だより10月号巻頭言で紹介した“非認知能力”のひとつです。しかもこのふたつは人生を成功に導くうえで重要な“非認知能力”と考えられています。そこで、自分軸「自分が決める」のテーマとして生徒に考えさせたいという思いからと、もうひとつ「自制心」も「やり抜く力」も“いじめ”について向き合ったり考えたりするうえで欠かせない資質ではないかとの思いから、このふたつを取り上げました。自分で自分の感情・欲望などを抑える「自制心」なくして“いじめ”に向き合うことはできません。また、物事を最後までやり通す「やり抜く力」なくして“いじめ”をなくすこともできません。生徒には自分事として「自分に向き合う」ことを様々な角度から迫っていきたいと思っています。

く 「多く人とのかかわりを通して「思いやり・感謝の心」を育てたい！」

“非認知能力”について書かれた『学力』の経済学（中室牧子著：株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン）には、“しつけ”についても言及しています。一部を紹介します。「…窪田准教授らは、しつけが子どもの勤勉性に因果関係を持つことを明らかにしました。すなわち、親が幼少期のしつけをきちんと行い、基本的なモラルを身につけさせるということは、勤勉性という非認知能力を培うための重要なプロセスなのです。…」と。ご家庭でも我が子が思いやりをもち、あいさつができて、ありがとうと人に感謝できる人に育ててほしいと願い、我が子をしつけていると思います。実は本人だってそうありたいと思っているはずです。小学生の頃は素直に聞いてくれたのに、中学生ともなれば反抗期に入り、思いとは裏腹な態度を取っては親を慌てさせることもあるでしょう。これはある意味避けては通れないこと。そして、本人が一番悩んでいる証でもあります。親への反抗は通過儀礼と思えば、むきになることもありませんし、大事なことは“親のスタンス”が変わらなければ却って我が子も安心できます。



中央ろう学校生徒会と本校生徒会の交流会 10/10(木)本校にて

向陽中生は人との関わりを通して人間関係を学び、学年が上がるにつれて「人を思いやる心」や「人に感謝する心」を確実に身に付けています。表情が穏やかになったり、物言いが優しくなったり、とげがなくなったりすることで実感できます。ただ、時間のかかる生徒もいます。我慢

向陽中生は人との関わりを通して人間関係を学び、学年が上がるにつれて「人を思いやる心」や「人に感謝する心」を確実に身に付けています。表情が穏やかになったり、物言いが優しくなったり、とげがなくなったりすることで実感できます。ただ、時間のかかる生徒もいます。我慢

強くねばり強く働きかけたり、本人の自覚を待ったりすることもあります。

〈 わがまま・いじり・嫌がらせのとらえ方 〉

今年度は、向陽中学校を「誰もが安心して学べる、いじめのない学校」にするために、生徒同士の良好な人間関係や集団生活等を阻害する“わがまま・いじり・嫌がらせ”をさせない指導に力を入れています。また、様々な機会や場面を通して、生徒に“こんにちは”等のあいさつや、“ありがとう”・“ごめんなさい”等を日常的に言えるよう指導しています。さらに、お互いさまの精神で困っている生徒に手を差し伸べるよう指導しています。

“わがまま”も“いじり”も“いやがらせ”も見方によってはどこか似通った感情のように思われます。“わがまま”が高じて“いじり”や“いやがらせ”に走ったり、“わがまま”が要因ではないにしろ、相手との相性などから“いじり”“嫌がらせをしたり”ということも考えられます。中学生の成長期特有の感情や行動から判断すると、“わがまま・いじり・嫌がらせ”は事象そのものの大小はあるものの、避けては通れないことです。他人に迷惑をかけない程度の“わがまま”があったり、仲よし同士の“いじり”もあったりするでしょう。また、未熟が故(ゆえ)の“嫌がらせ”をしてしまうこともあるでしょう。つまり、“わがまま・いじり・嫌がらせ”の空気感や程度、実情によっても対応が分かれることとなります。一括(ひとくく)りに“わがまま・いじり・嫌がらせ”は許さないという対応のみでは、生徒も息苦しさを感じてしまいます。教員は事象の実態把握に努める際、事象における生徒の人間関係や程度、空気感を見極めます。

〈 「学校生活アンケート」から見える生徒の実態 〉

10月中旬に今年度第2回「学校生活アンケート」(年3回実施)を行いました。このアンケートのねらいは教員が把握できていない“いじめ”を把握するためです。集計の結果、自分が「いじめられた」と書いた生徒が1名いました。この件について、本人にも再確認し、軽微な内容であることと継続性がないこと、そして現在の状況も把握しました。そして、いじめ防止対策委員会にて検討した結果、この件をいじめとは認定しませんでした。また、今回のアンケートでは、「いじり」についての記載が10件程度ありました。これらについては学級担任の聞き取りや対象生徒への指導、学級全体への注意などを行いました。

学校は「いじめ」は絶対に許されないという考えの下、継続的に生徒に呼びかけたり働きかけたりしています。生徒も「いじめはだめ」と頭では分かっています。そ



妙法寺子ども食堂ボランティア
6名参加 8/5(月) 妙法寺にて



ふれあい運動会ボランティア 10名
参加 10/5(月) 蚕糸の森公園にて

れでも、まだまだ未熟な子どもたちの世界です。大人の目を盗んで悪さをしたい盛りでもありません。「遊び半分だった」とか「冗談だった」とか、言い訳に必死になる年頃です。こうした中学生の複雑な心模様を斟酌(しんしゃく)するならば、大人の対応も生徒の事情や心情をしっかりとくみとった丁寧なものでなければなりません。いじめ対応マニュアルには、基本的な姿勢としてそれぞれ「いかなる理由があっても、徹底していじめを受けた児童・生徒の味方になる」・「いじめを行った背景を理解しつつ、行った行為に対しては毅然とした態度で指導する」とあります。こうした姿勢を第一義として、いじめを受けた被害者の心情にも、いじめをした加害者の心情にも配慮した姿勢を共有し対応してまいります。

◇ 生徒にボランティアマインドを身に付けさせる ～ボランティア活動を通して～

今年度も向陽中生にボランティア活動を勧めています。そのねらいは、ボランティアマインドの育成とボランティア活動で得られる貴重な体験です。向陽中では様々なボランティア活動を生徒に紹介しています。これまでに紹介した活動をお知らせします。

- ◇ 7/4(木) 社会を明るくする運動 67名参加予定(雨天中止)
- ◇ 8/5(月) 妙法寺子ども食堂 7名参加
- ◇ 9/5(土) ふれあい運動会 10名参加
- ◇ 10/20(日) すぎなみ舞祭 9名参加
- ◇ 10/25(金) 永福町駅前放置自転車クリーンキャンペーン 10名参加予定(雨天中止)
- ◇ 11/3(日) 第51回町ぐるみ運動会 78名参加
- ◇ 11/16(土) 向陽中震災救援所訓練 16名参加
- ◇ 11/24(日) 高三小震災救援所訓練 8名参加予定(雨天中止)

上記以外にも、夏休みに自らボランティア活動に参加した生徒もいます。心強いですね。今後は紹介するボランティア活動は多くはありませんが、できるだけ紹介してしたいと思います。

なお、本校にはボランティア部があり、上記紹介のボランティア活動にも積極的に参加するとともに、向陽農園や花壇の作業、芝生の雑草抜き、校内美化などを行っています。積極的に活動する部員が多く、頼もしい限りです。学校全体に広がることを期待します。

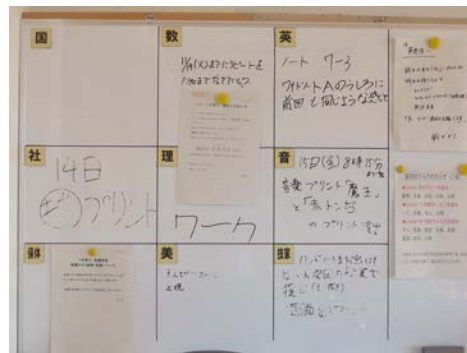


向陽中に集う「町ぐるみ運動会」はこの地域の宝物です！
(*^o^*) 70名参加 11/3(日) 本校校庭にて

すぎなみ舞祭ボランティア 9名
参加 10/20(日) おおぞら公園にて

◇ 家庭学習を習慣化させる1年生の取組み ～『宿題ボード』を活用して～

向陽中生を『自立した学習者』に育てる取組みの一つに「家庭学習」があります。具体的には、「必然性を伴う宿題や定期考査前の学習にはしっかりと取り組ませる。特に1年生では、『宿題ボード』を活用した宿題の見える化により、宿題に取り組む習慣を身に付けさせる。また、生徒に『自己選択と結果責任』を自覚させ、自発的な予習や復習などの家庭学習をうながす」ことに取り組んでいます。より『自立』を意識させました。なお、今年度より「家庭学習」の定義を“学校の授業以外の場面や場所で学習すること”に変更しました。



ある日の1-Cの「宿題ボード」

先日、1年生の教室の『宿題ボード』(ホワイトボード)を見て回りました。9教科毎の枠があり、そこに宿題を記入する形式になっています。このボードがどれだけ1年生の“宿題やる気!”を刺激しているかは分かりませんが、習慣化につながることを期待しています。

◇ 学校評価アンケートにご協力をお願いします ～生徒・保護者・地域対象～

明明後日(しあさって)から師走12月です。すでに、北海道をはじめ、東北北部で降雪や積雪の便りが聞かれます。新年度がスタートしてはや8か月が過ぎました。今年度も生徒に『がんばれ!自分。私がやる!』の精神を発揮するよう求めています。生徒のやる気や主体性を演出し、生徒に『自立』を促しています。また、「チーム向陽～組織対応・説明責任～」をキーワードに、教職員が当事者意識をもち、自己の役割と責任を果すとともに、個人プレーではなく組織プレーの仕事をする取り組み、風通しのよい「チーム向陽」を目指しています。同時に、教科の「評価・評定」の説明責任を果すこと、学級や学年の指導方針や生徒の様子等については、保護者会や学年だより等で伝えること、学校の方針や考えについては、保護者会や向陽だより、校長室だより等で説明することにも取り組んでいます。第3学年の進路指導では、生徒・保護者との相談機会と情報提供にも努めています。今年度も残すところ4か月となりましたが、今後もよろしくをお願いします。

さて、今年度の「学校評価」を始める時期となりました。学校が「自己評価」を行う際の適切なデータを得るため、生徒とともに保護者・地域の皆様に学校評価アンケートをお願いしました。内容は昨年度とほぼ同じです。11月25日(月)に生徒を通じて「保護者アンケート」を配付しました。12月6日(金)までにご提出ください。地域の皆様方もよろしくをお願いします。

『木曜C a f e勉』に参加してみませんか

- 定期考査前に開催される「C a f e勉」の他に、木曜日に開催されている『木曜C a f e勉』をご存じでしょうか。
- この『木曜C a f e勉』は、基礎的な学力を身に付けたい生徒にはもってこいの学習会です。例えば、数学の計算、英語の単語や文型などです。
- 『木曜C a f e勉』の時間は17:00～19:30です。地域の方々がいねいに教えてくれます。11月～12月の開催日は、11月21日(木)済み、28日(木)、12月5日(木)です。予約なしでも大丈夫ですので、ゆうゆう永福館 2階多目的室に行ってください。なお、『木曜C a f e勉』は来年1月以降もあります。